

一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会(第7回)

専門職の効果的・効率的な関与の 具体的方策に関する提案

2019年10月21日

公益社団法人 日本医師会
常任理事 江澤 和彦

医師会等の関係団体との緊密な連携による「協働体制」の構築

○地域づくりの視点を踏まえた通いの場の情報共有と通いの場への支援に関する協働

⇒医師会等が市町村の地域支援事業における相談窓口を担当する仕組み

○「医療専門職等の連携と役割」に関する医師会等との定期的協議の場

⇒地域の実情に基づいた通いの場へのかかりつけ医と医療機関等の支援方策を議論

○「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」等に関する医師会等との協働

⇒企画立案段階及び事業開始後における医師会等との定期的連携による質の向上

医師会の支援体制による新たな地域リハビリテーションの体制の構築

○都道府県リハビリテーション協議会・支援センターの設置・充実

⇒都道府県医師会・地区医師会との密接不可分な連携体制の構築

⇒都道府県医師会・地区医師会によるリハビリテーション支援体制構築

○地域リハビリテーション広域支援センターの設置・充実

⇒都道府県医師会・地区医師会の連携に基づく医療機関の参加支援

○地域リハビリテーション活動支援事業の充実と質の向上

⇒地区医師会が市町村の窓口となりリハビリ専門職の派遣を支援

⇒地区医師会等との連携に基づいた定期的協議による「見える化」と質の向上

⇒地区医師会等との協働による地域づくりの視点を見据えた人材育成

⇒地域包括ケアの深化・推進に資する地域リハビリテーションの充実